

市議会広報はお堅い？

若者の興味を引く広報の在り方

座談会 ①

第1回目の座談会は、市内の大学に通う学生4名と広報委員3名とでオンライン形式で開催しました。
選挙権を得て間もない学生の目には、市議会広報はどのように映っているのか。率直なご意見を伺いました。

市議会だより、見たことある？

——市議会の広報紙って見たことありましたか？
佐々木 豪雨災害がニュースで取り上げられていた時、家に届いたものを見ました。その後、自分なりにインターネットで調べたりもしたので、ニュースを見るきっかけにはなったと思います。

林 新聞折込で家に届いたものを見ました。地域猫の取り組みが載っていて、猫の耳を桜の花みたいにしていることも写真付きで載っていました。広まると良いねと家族で話しました。



副島 進学で広島に来て、新聞も取っていないので、これまで目にする機会はありませんでした。他県の市議会だよりはどうかと思って、東京都のものを見てみましたが、紙面の見やすさでは、広島市の方が工夫されていて良かったです。でも、話した内容が縦に行間を詰めて書いてあるので、読み続けるのは辛いと感じました。

佐藤 私も進学で広島に来るまで見る機会がなかったのですが、今回市議会ホームページで見て、今まで触れていなかったのがもったいないと思いました。核兵器や平和について勉強したいと思って広島に来たのですが、核兵器禁止条約のことなど議員が発言しているのを見て、今の広島市の取り組みとかも知ることができるので、学習材料としても良いと思いました。

読みやすい紙面とは？

——どうしたら読みやすくなると思いますか？

林 例えば、その記事がどういう方を対象とした情報かが分かる目印(アイコン)があれば良いと思います。デートDVについて書かれていた号を読んだのですが、女性が相談しているイラストに目が行ったので、タイトルの上とかに困っている女性向け、認知症カフェの記事には、高齢者向けと分かるマークを付けると目が行くのではないのでしょうか。

佐々木 1面で、その号の掲載内容が分かるような一文、サブタイトルみたいなものが色付きや大きな文字で載っていると、興味がある内容であれば、文字が詰まっても読む人は多いと思います。

佐藤 全体的に文字が多いという印象ですが、必要最低限の情報を掲載していることも分かるので、分量の面では仕方ないのだと思います。ただ、自分に興味のあることが拾えるよう、もう少し詳しい目次があると、興味があるところだけでも読む人が増えると思います。

情報はどうやって入手する？

——日頃、紙以外ではどんな媒体から情報を入手していますか？

佐藤 LINE ニュースで今何が起きているか見ています。最近テレビのニュースは見なくなっています。YouTube はよく見ますけど、正直、今の市議会のチャンネルを見ようとは思わないですね。

副島 私も、見るのはLINE ニュース、Twitter のトレンドで、家ではニュースを見ません。市議会のYouTube を見てもらうのにどうしたら良いかと考えたときに頭に浮かんだのが、農林水産省の方の「農林水産省あるある動画」でした。そういう、例えば、市議会議員の1日のルーティーンとかをあげてみたら、面白いと思ってくれた人がきっかけとして覗きにきてくれるかなと思います。



佐々木 私もニュースはテレビではなくて、Twitter で見る人が多いです。Twitter の動画は2分20秒までなので、それぐらいなら見ようかなと思います。YouTube で動画を見る人たちは、サムネイルに興味を引かれて見てみようという人が多いですが、市議会ではサムネイルを作っていないので、あれば良いと思いましたし、時間も長いので、導入となる短めの動画があると、興味のある人は長い動画も見てみようというきっかけになるのではないのでしょうか。



創刊300号記念特集②

市民を惹きつける

◆広島市議会広報委員会では、市民に開かれた議会を目指し、ひろしま市議会だよりを始めとする市議会広報について必要な協議・調整を行っています。

関心のある市議会情報は？

——市議会からの情報、どんなことなら関心が持てますか？

林 私は、住んでいる地域に関わることは知りたいです。

佐々木 広島市のお金が具体的にどう振り分けられているのかは、市民全員が知りたい情報だと思います。また、議員が市民に寄り添って意見を聞こうとしている姿勢が垣間見えると、興味のない話題でも、議員が話をしているということは市民にとって必要な情報なのではと考えるきっかけにもなると思います。それに、市民は、自分の意見をどう伝えれば良いのか、発信しても良いのかちゅうちょもあると思います。市民がどういうことを知りたいのか議員と一緒に考えられる場があると、身近に感じられて、市議会にももう少し興味が湧くのではないのでしょうか。



おわりに

広報委員 本日の座談会が、参加していただいた皆さんにとって、市議会の活動により一層興味を持つきっかけになれば、うれしく思います。広報委員会としても、若い世代の方々に市議会のことをもっと知っていただけるような広報の手法について、本日の意見を踏まえてしっかりと議論をしていきたいと思っています。



副島 沙奈さん
広島市立大学
芸術学部デザイン工芸学科4年生



佐藤 優さん
広島市立大学
国際学部2年生



佐々木 亜美香さん
広島修道大学
経済科学部経済情報学科4年生



林 祐里さん
広島修道大学
人文学部人間関係学科3年生

参加してくださった大学生の皆さん



緊急事態宣言期間中であったため、オンラインで開催しました。